

平成24年度 第2回CCCコミュニケーション関係学グループ運営委員会 議事概要

I. 日 時：平成24年6月19日(火) 19:00～21:00

II. 場 所：私立大学情報教育協会 事務局 会議室

III. 出席者：北根委員（ネット） 阿部委員 鈴木委員
（事務局）井端事務局長 森下主幹 松本職員

IV. 議事概要

1. 検討内容

(1) 今回から新委員として鈴木委員（早稲田大学）に参加いただくことになった。

(2) 学士力実現に求められる教育改善モデルの検討

事務局より昨年度まとめた教育改善モデルを実現するための教育力について、今回と次回委員会の2回で文章化することとし、教育力を検討する経緯や背景について説明があった後、今回は「コミュニケーション関係学教員の教育力」のうち、コミュニケーション関係学教員に期待される学識についてまとめた。

1. 教育力まとめの背景、趣旨

モデルを説得力あるものにするためには、教員としての努力が必要であり、FDの実施も含めて教員の努力として戦略をどのようにするのかを今回と次回で検討し、まとめることを確認した。

2. コミュニケーション関係学教員の教育力

（コミュニケーション関係学教員に期待される学識）

使命感、倫理観、様々な分野の知識の統合、社会のイノベーションに関与、ICTの活用能力といった視点から以下のようにまとめた。

【1】コミュニケーション関係学教員に期待される学識

- ① 強い使命感と倫理観を持ち、豊かな人間関係が構築される社会を実現することに貢献できる専門家であること。
- ② コミュニケーションを理解し、実践するために様々な分野の知識を統合できること。
- ③ 個人・社会・文化などの観点から複合的視点に立って理論と実践の関連付けを行い、社会のイノベーションに関与できること。
- ④ コミュニケーションの仕組みの重要性を気づかせ、興味を持って主体的に取り組ませられること。
- ⑤ ICTなどの教育技法を駆使して、参加・対話・実践型の教育ができること。

V. 次回委員会

次回は7月24日（火）18：30より開催することにし、コミュニケーション関係学教員の教育力の2番目の項目である、「教育改善モデル実現に求められる教育力」について引き続き検討することにした。

以上